

小鳥

中澤要實

夕べねぐらに歸り行く

小鳥の姿頼母しき

終日空をかけ廻り

あるは地上に蟲をはみ。

×

つかれし身をばいと軽く

やさし翼に身を託し

明日の陽の出を約しつゝ

あかねの空に飛んで行く。

×

汝が身はまこと幸多し

夕は暖爐の母の胸

朝に澄める青空を

慈愛の光に包まれて。

×

思へば悲し人の世ぞ

天地の慈愛知らずして

破壊、没落、暗黒に

浮きつ沈みつ流れゆく。